



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発効日 2018年9月11日

発行NO 2018 - 12号

台風21号、北海道地震、岐阜の豚コレラが相次いで発生

◎ 台風21号

4日、強い勢力を保ったまま徳島県に上陸した台風21号は、近畿地方を縦断し猛烈な風雨を伴い中国近畿地方を襲い、各地に記録的な被害をもたらした。その後、北海道においても激しい風雨による被害が発生。農水省は、緊急自然災害対策本部において復旧等に取り組みました。

◎ 北海道胆振東部地震

6日深夜3時7分、北海道で過去最大となる震度7の地震が発生した。地震による土砂崩れ、家屋やハウスの倒壊等が各地で発生した。一時295万戸が停電し、ライフラインがストップしたことで酪農や物流等に大きな影響が生じた。地震発生から1週間、特に電力需給ひっ迫等による産業被害からの復興が喫緊の課題となっている。

◎ 豚コレラ

9日、岐阜県岐阜市の養豚場で、国内では26年ぶりの豚コレラが発生した。10日早朝には発生農場で610頭の殺処分を完了し、汚染物の処理や農場の消毒などの防疫処理を実施した。農水省は大臣を本部長とする防疫対策本部を設置して感染拡大防止等に取り組みしている。

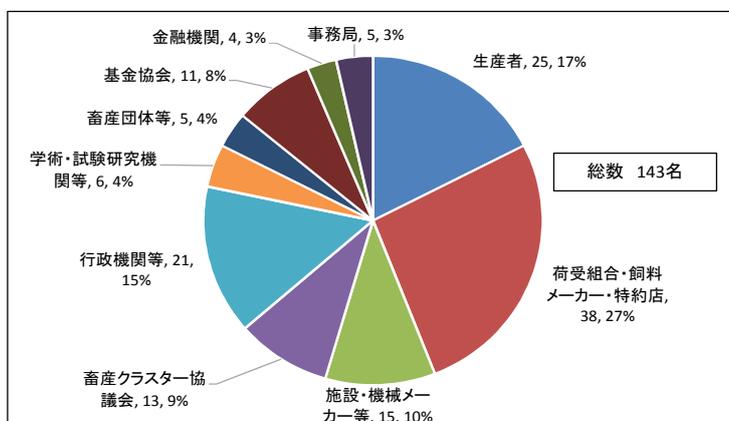
各省庁は財務省に「平成31年度概算要求」を提出

- 8月31日、各省庁から平成31年度予算の概算要求が財務省に提出された。財務省は、これから年末の予算案（政府案）の決定に向けて査定作業に入る。
- 農林水産関係予算では、「攻めの農林水産業を展開し成長産業にするとともに、農林水産業全般にわたる改革を着実に実行する予算」として、対前年比118.5%の2兆7,269億円を要求した。
- 畜産関連予算では、「強い農業のための基盤づくりとスマート農業の実現」、「スマート農業加速化実証プロジェクト」、「ICTを活用した畜産経営の生産性向上対策」等新しいポイントも見られます。

全日畜シンポジウム「スマート畜産への期待」がスタート

全日畜が初めて取組むJRA事業（日本中央競馬会畜産振興事業）は、「スマート畜産」の普及事業と位置づけたシンポジウムがスタートしました。2年間で4回の開催を計画しているシンポジウムは、7月に鹿児島県で第一回を開催しました。スマート畜産の推進に関係する多業種の皆さんにご参加をいただき、盛会な会合となりました。詳細は次頁で紹介いたします。

（グラフは、鹿児島会場でのシンポジウム参加者の内訳）



（文中での団体の略称標記について）

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）

報
告

JRA事業「スマート畜産調査普及事業」

全日畜シンポジウム in かごしま 「スマート畜産への期待」

- 開催日 平成30年7月24日(火)～25日(水)
- 会場 鹿児島 サンロイヤルホテル 鹿児島県鹿児島市与次郎 1-8-10
- 概要

24日	第一部	基調講演等	(基調講演1題、事例紹介4題、活発な意見交換がありました。)
	第二部	情報交換会	(講師等を囲んでの情報交換、簡易ブースでの展示もありました。)
25日	第三部	現地研修会	(ジャパンファームのバイオマス発電所と牧原牧場を視察しました。)

全日畜が初めて開催する「全日畜シンポジウム(スマート畜産への期待)」の開会を宣言する全日畜理事 鶴藺真佐彦氏(写真上)。少子高齢化や人口減少対策のためにもスマート畜産の推進を図りましょうと挨拶。

テーマである情報通信技術(ICT)や人工知能(AI)を活用した「スマート畜産」は関心が高く、畜産生産者、飼料メーカー、機械メーカー、行政機関、試験・研究機関、金融機関、畜産団体など約150人が参加した。

事例紹介では、①日本型豚舎洗浄ロボットの開発、②クラウド型牛群管理、③アラート情報を受信する牛群管理、④新技術導入の留意点の4題の発表がありました。(写真中)

発表終了後、基調講演と事例紹介をされた講師の方々と参加者の間で、実態を踏まえた様々な質問や意見交換が、時間を超えて活発に行われた。

二日目の現地研修会は、①ジャパンファームのバイオマス発電所を視察して、鶏糞焼却による蒸気と電気エネルギー利用について、②牧原牧場では、牛の行動のデータ化による牛群管理の効率化について研修。現地では参加者からの専門的な多くの質問がありました。



(写真下、左)
ジャパンファーム



(写真下、右)
牧原牧場

お知らせ

次のシンポジウムは「福島県」で開催(9月27日～28日)

- 開催日 平成30年9月27日(木)～28日(金) 27日 13:30～基調講演等、28日 8:00～12:30 現地研修会
- 会場 ザ・セレクトン福島(旧、福島ビューホテル) 福島市太田町 13-73 TEL 024-531-1111
- 概要

27日	第一部	基調講演等	(基調講演1題、事例紹介4題、会場との意見交換)
	第二部	情報交換会	(講師等を囲んでの情報交換、簡易ブースでの展示)
28日	第三部	現地研修会	(福島県農業総合センターとミネロファームを視察研修)

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会(全日畜)
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金(全日基)
- ・協同組合 日本飼料工業会(工業会)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会(〇〇県基金協会)